

# 日本政治学会 会報

The JPSSA News

No.43

JUN. 2002

## 2002年度研究会企画をめぐって

企画委員長 加藤 節

政治学会の企画委員長を仰せつかって以来、企画委員をお願いした松本礼二、藤原帰一、関口正司、小林良彰、久米郁男、斉藤純一、西崎文子の各氏と相談しながら企画案を練ってまいりました。その際、次の四点に配慮したつもりです。

一つは、共通論題Ⅰに代表されるように、多くの会員にとって政治学という学問のあり方を改めて自覚化する機会となるような企画を組むことです。これは、政治学の専門分化が急速に進んだ結果、逆に、政治学一般への関心が薄れてきている現状に対処しようという問題意識にもとづいています。

第二に、アクチュアルな問題に原理的、あるいは歴史的に接近するようなプログラムを作ることに注意を払いました。共通論題Ⅱをはじめとして、ほとんどの分科会企画が現実と強い接点をもったものになっているのはその結果です。そこには、現実科学としての政治学の可能性を確認したいとの期待がこめられています。

第三に、政治学者はジェンダーの問題に関心が薄いとかねてからの批判に応えることにも配慮しました。分科会Gはその具体化にほかなりません。

第四に、できるだけたくさんの分科会を設けるように注意しました。多様なテーマを設定することによって、研究会への数多くの会員の参加を促したいと考えたからです。

以上のような方針のもとに構想された今年度の企画が、会員諸氏の関心に訴えて活発な研究会の実現に結びつくことを願っています。

次に、今回の企画に関連して感じたことを申し述べておきたいと思います。第一は、研究会のプログラムを組むことがきわめて難しくなっているということです。その理由は二つあります。一つは、現在、1500名に達した会員数の多さです。ディシプリンも、内外の出身校も、世代も異にするこれだけの会員の関心に応じうる企画を立てることは容易ではないからです。もう一つは、政治学会のほかに政治学に関連する多くの学会が組織されていることに対応して、それらの諸学会に自らのアイデンティティを見出す会員が増加していることです。政治学会の企画にどれだけ工夫をこらしても、そうした人々の期待に直接応えることは極度に困難であるからです。政治学会として、研究会のあり方を抜本的に考え直さなければならない時期にきているのではないかと思います。

第二に感じたのは、若い世代にとって、政治学会の魅力が低下しているのではないかということです。今回、自由論題への応募者の数が期待を大幅に下回ったことがそれを暗示しているように思います。もし、こうした判断が不幸にして的外れではないとすれば、われわれは、政治学会での活動をとおして若い研究者が育つような組織へと政治学会を変えて行かなければならないのではないのでしょうか。その意味でも、政治学会は設立50周年を経て、大きな転換期を迎えているように感じられてなりません。

## 2002年度日本政治学会研究会プログラム

### 共通論題Ⅰ パネル・ディスカッション「20世紀 は政治学をどう変えたか」

司会 松本礼二 (早稲田大)  
報告 大嶽秀夫 (京大)  
塩川伸明 (東大)  
古矢 旬 (北海道大)  
竹中千春 (明治学院大)

「人道と介入——正義の規範的制御について」  
土佐弘之 (東北大)「決断主義という亀裂について——介入と普遍的管轄権」  
安武真隆 (関西学院大)「人道的介入の政治的ディレンマ——政治学史研究の立場から」

討論 細谷雄一 (敬愛大学)

### 共通論題Ⅱ 「アジアの冷戦はどう終わったのか」

司会 藤原帰一 (東大)  
報告 下斗米伸夫 (法政大)「冷戦の終焉とソ連の変動」  
李 鐘元 (立教大)「朝鮮半島の脱冷戦プロセス」  
石井 明 (東大)「中ソ対立終息への道——珍宝島事件からSCO [上海協力機構] の結成へ」  
討論 原 彬久 (東京国際大)

### 分科会D「文明の政治思想」

司会 関口正司 (九州大)  
報告 松田宏一郎 (立教大)「明治思想における文明社会と自然状態」  
小田川大典 (岡山大)「規範としての教養と文化」  
木村俊道 (九州大)「宮廷から文明社会へ——初期近代ブリテンにおける徳と作法——」  
討論 平石直昭 (東大)

### 分科会A「20世紀の『帝国』と戦争」

司会 酒井哲哉 (東大)  
報告 川崎 修 (立教大)「帝国主義と全体主義——ハンナ・アレントとローザ・ルクセンブルク」  
北川忠明 (山形大)「フランス植民地帝国の解体と知識人——レイモン・アロンを中心に」  
米谷匡史 (東京外大)「矢内原忠雄の植民・社会政策論」  
討論 亀嶋庸一 (成蹊大)  
坂本多加雄 (学習院大)

### 分科会E「改革以降の政治過程」

司会 小林良彰 (慶応大)  
報告 山口二郎 (北海道大)「改革以降の自民党型政治システム」  
谷口将紀 (東大)「改革以降の組織票動員」  
浅野正彦 (東大)「改革以降の候補者公認」  
討論 待鳥聡史 (大阪大)  
三船 毅 (愛知学泉大)

### 分科会B「国際政治における法的制度化」

司会 古城佳子 (東大)  
報告 田所昌幸 (慶応大)「国際社会における制度化の諸相」  
石田 淳 (東大)「内政干渉の国際政治学」  
明田ゆかり (成蹊大)「貿易自由化と最適法的制度化——WTOの制裁の機能を中心に」  
討論 河野 勝 (青山学院大)

### 分科会F「腐敗の政治学」

司会 久米郁男 (神戸大)  
報告 玉田芳史 (京都大)「タイ政治の腐敗と民主化」  
山谷清志 (岩手県立大)「政府改革と汚職・腐敗——問題提起——」  
土居丈朗 (慶応大)「腐敗防止の政治経済学：制度を憎んで人を憎まず」  
討論 Steven Reed (中央大)  
加藤淳子 (東大)

### 分科会C「人権と政治——人道的介入／国際人権レジームをめぐる」

司会 齊藤純一 (横浜国大)  
報告 最上敏樹 (国際基督教大)

### 分科会G「ジェンダーと正義」

司会 杉田孝夫 (お茶ノ水女子大)  
報告 谷澤正嗣 (早稲田大)「現代リベラ

# 学 会 ニ ュ ー ス

リズムの正義論とフェミニズム」  
衛藤幹子（法政大）「ジェンダーと市民的自由——平等と差異の再検討」  
岩本美砂子（三重大）「女性はいかにして政治から排除されてきたのか——理念・制度・社会化」

討論 向山恭一（新潟大）

## 分科会H「アメリカの戦争・アメリカの平和」

司会 西崎文子（成蹊大）  
報告 管 英輝（九州大）「リベラル・ウォー、リベラル・ピース」  
大津留（北川）智恵子（関西大）  
「正戦に動員される市民社会」  
豊下楯彦（関西学院大）「ウィルソンとマキャヴェッリの諸関係」

討論 大串和雄（東大）  
高原孝生（明治学院大）

## 分科会I「民主主義と経済システム」

（アメリカ政治学会との国際交流セッション）

司会 中邨 章（明治大）  
報告 W.M. Downs (Georgia State University), "Decentralization Via Democratization in the Global Economy; Subnational Governments as Model Entrepreneurs?"  
B. Crawford (University of California, Berkeley), "Old Legacies,

New Institutions ; What will shape the EU Enlargement Process?"

討論 平野 浩（学習院大）  
武田興欣（青山学院大）

## 分科会J「ニュー・ポリティカル・カルチャー(NPC)の国際比較」(韓国政治学会との国際交流セッション)

司会 田辺国昭（東大）  
報告 吉野 孝（早大）「米国大統領選挙における新しい選挙連合の形成」  
名取良太（関西大）「日本の地方政治におけるNPC」  
孫浩哲（西江大）"Korean Politics in Transition with Special Emphasis on Civil Society"

討論 曾我謙悟（大阪大）  
孫洌（韓国中央大）

## 分科会K「自由論題」

司会 佐藤正志（早稲田大）  
報告 森分大輔（成蹊大）「ハンナ・アレントの社会契約論」  
木下真志（高知短期大）「村山連立内閣における社会党の政策転換」  
名和賢美（一ツ橋大）「デモクラティアーの根本原理—ヘロドトスによるエス・メソンの用例をもとに—」  
討論 萩原能久（慶応大）

本年度の日本政治学会研究会は、10月5日（土）、6日（日）の両日、愛媛大学で開催されます。共通論題、分科会の開催日程は下記のとおりです。

10月5日 共通論題Ⅰ  
分科会 A, B, C, D, E, J  
10月6日 共通論題Ⅱ  
分科会 F, G, H, I, K

## 次期理事長選出について

理事長 堀江 湛

理事長選出規程に基づき、本年3月16日、理事長候補者推薦委員会で加茂利男会員が推薦され、次期理事会でこれが承認されたことで、次期理事長が正

式に決定しました。本年度の総会で報告されることとなりますが、会報におきましても会員各位に理事長選出結果についてお知らせ致します。

## 理事長選出規程検討委員会の発足について

理事長 堀江 湛

3月16日の次期理事会において、理事長候補者推薦委員会の推薦に基づき、次期理事長として加茂利男会員が決定しました。これを受けて、同日開催された第4回理事会において、理事長選出規程検討委

員会が安世舟理事を委員長として発足し、会員の融和と開かれた学会のさらなる発展を目的として理事選出規程の明確化を図る規程の見直しに着手したことを報告致します。

## 2001年度 第3回理事会記録

日 時：2001年12月8日（土）午後1時～2時10分

場 所：日本大学法学部本館 第1会議室

第3回理事会では以下の事項が報告、協議された。

### 1. 各委員会報告

#### (1) 年報委員会

2001年度年報委員長の馬場理事（欠席のため藤原常務理事代読）より、2001年度年報は2002年1月末に刊行見込みである旨の報告が行われた。また2002年度年報委員長の安理事より、2002年度年報に応募のあった公募論文の採否を決めるにあたり、紙幅の許す範囲で前例を参考にしつつ可能な限り多くの論文を採択する方向で、今後その審査手続きに入ることが報告された。2003年度年報委員長の渡辺理事からは、2003年度年報委員会委員に大海篤子、斎藤純一（横浜国立大）の2名を追加することが提案、承認された。また「ジェンダーと政治」をテーマとして科研費に申請したことが報告された。

#### (2) 日韓交流小委員会

日韓交流小委員長の辻中理事（欠席のため藤原常務理事代読）より、韓国政治学会（2001年12月5日～7日）に日本政治学会会員を派遣する件に関し、会員からの応募がなかったため、委員会として松並潤（大阪学院大）、建林正彦（関西大）の二会員の派遣を決定したことが報告された。

#### (3) 文献委員会

2001年文献委員長の藤本理事より、年報に掲載する「学会展望」の原稿は既に校正段階に入っていることが報告された。また2002年度文献委員長の小野理事より、2002年度文献委員として、田村哲樹（名古屋大）、近藤康史（筑波大）、進藤兵（名古屋大）、米原謙（大阪大）、斎藤純一（横浜国立大）、梅川正美（愛知学院大）、増田知子（名古屋大）、藤本博（南山大）、小川有美（千葉大）、大串和雄（東京大）、仙石学（西南学院大）、片山裕（神戸大）、鈴木一人（筑波大）の13名（他1名の追加を検討中）を選考したことが報告された。

### 2. 新入会員及び再入会会員承認の件

以下23名の入会が承認された。

Inge Engel Christensen、原田伸一、中島琢磨、三田妃路佳、菅原光、木村朗、大木康充、西谷紀子、高原明生、松森奈津子、平林紀子、川中豪、鈴木真志、波田永実、木原滋哉、五十嵐啓之、上田太郎、神崎勝一郎、門松秀樹、河村直幸、亀田利光、鈴木一人、高橋良輔

また以下3名の再入会が承認された。

笠原英彦、富橋隆、李鐘元

### 3. 名簿発刊の件

藤原常務理事より、名簿作成を学会事務センターへ委託することが提案され、続いて杉本幹事より事務センター委託に伴う予算編成方針の変更について説明が行われた。名簿作成をセンターに委託する場合、本年度予算として名簿調査カード関係費用等262,250円を予備費の中から支出すること、従来は年40万円であった積立金を来年度は80万円、それ以降は年に約70万円を積み立てる必要のあることが説明された。費用面での負担が増えることから、発送経費等節減できる余地があればその努力をすること、名簿作成業務を事務センターへ委託することは承認された。

### 4. 次回理事会開催日の件

次回理事会は、2002年3月16日（土）午後1時より日本大学において開催されることが提案、承認された。

### 5. その他

(1) 本学会で継続審議されてきた『政治学文献目録』の刊行計画に関しては、藤本文献委員長のこれまでの検討の労を評価しながらも、同委員長の検討した科研費の応募による刊行の可能性について、減額された場合学会の負担が重くなることを考慮し、また社会状況が変化し必ずしも目録刊行の必要性が従来ほどには高くなかったことに鑑みて、これまでの検討の経緯を総会で報告し、刊行中止の了承を得ることとした。

(2) 大学評価委員会評価候補者を推薦するにあたり、堀江理事長、藤原常務理事、及び現委員の

大嶽理事、加茂理事、安理事の5名にその選考を委ねることが提案、承認された。

## 2001年度 第4回理事会記録

日 時：2002年3月16日（土）午後2時～3時  
場 所：日本大学法学部本館 第1会議室

された年報に「学界展望」が予定通り掲載されたことが報告された。また2002年度文献委員長の小野理事より、2002年度文献委員として、前回の理事会で報告した13名に加え、木村幹会員（神戸大）を追加したことが報告された。

第4回理事会では以下の事項が報告、協議された。

### 1. 各委員会報告

#### (1) 年報委員会

2002年度年報委員長の安理事より、2002年度年報公募論文に応募のあった6本の論文を審査した結果、4本の論文の掲載を決定したこと、また12月中には公刊できるよう現在作業を進めていることが報告された。2003年度年報委員長の渡辺理事からは、現在科研費に申請中であること、また共同研究を既に開始したことが報告された。

#### (2) 企画委員会

2002年度企画委員長の加藤節理事より、2002年度政治学会企画（案）が示された。ただ、まだ多少流動的な部分があるため、最終的には4月半ばまでに企画内容を確定する予定であることが報告された。

#### (3) 国際交流委員会

国際交流委員長の蒲島理事（藤原常務理事代読）より、IPSAの福岡大会開催に向けて近く組織委員会を立ち上げる予定であること、来年度のAPSAへの派遣を、鬼塚尚子（帝京大学）、河野勝（青山学院大学）、福元健太郎（学習院大学）の3名に決定したことが報告された。

#### (4) 日韓交流小委員会

日韓交流小委員長の辻中理事（欠席のため藤原常務理事代読）より、2002年度日本政治学会への韓国政治学会からの参加については、報告者1名、討論者1名を予定しており、この件に関し金長権2001年度KPSA韓日交流委員長より基本的に了承を得ていることが報告された。

#### (5) 文献委員会

2001年度文献委員長の藤本理事より、既に公刊

### 2. 2001年度決算の件

杉本幹事より決算報告（別添）、秋月監事より監査報告がなされ、承認された。なお、決算報告について、今年度は従来の形式を踏襲したが、次年度からはこれを一般的に用いられている決算形式に変更するよう検討されることとなった。

### 3. 2002年度予算の件

杉本幹事より2002年度予算案（別添）の提案があり、原案通り承認された。なお、年報費をコストダウンする余地があるのではないかと、また予備費が多すぎるのではないかとこの意見が出されたが、それらは検討課題として次期理事会に引き継ぐこととした。

### 4. 新入会員及び再入会会員承認の件

以下12名の入会が承認された。  
菅英輝、窪田明、白崎護、施光恒、西田敏宏、野口暢子、野中健一、藤田由紀子、堀江孝司、森分大輔、山岡龍一、山辺洋美

### 5. 次回理事会開催日の件

次回理事会は、2002年6月8日（土）午後2時より近畿大学において開催されることが提案、承認された。

### 6. その他

(1) 国際交流委員長の蒲島理事（藤原常務理事代読）より、サンティアゴで開かれるIPSA執行委員会への出席に伴う旅費の学会負担を求める要

望があり、協議の結果、承認されることとなった。

(2) 杉本幹事より、会員名簿の作成に関し、5月下旬～6月上旬の発刊を目処に現在作業が進められていることが報告された。併せて、名簿の発送に宅配便を用いることで、経費を節減する予定であることが説明された。

(3) 堀江理事長より、本理事会に先立って開かれた次期理事会において、理事長候補者推薦委員会で次期理事長候補として推薦された安世舟理事から辞退の申し出があり、これを受け理事長候補者推薦委員会が開かれ加茂利男理事が次期理事長候補者と推薦され、次期理事会がこれを承認した

ことが報告された。

これを踏まえ、堀江理事長より、今回理事長決定に時間を要したのは理事長選出規程に不明確な点があったと考えられるので、安理事を委員長とする理事長選出規程の改定を検討する委員会を現行理事会に設置したいとの提案がなされ、承認された。また委員会は安委員長のもと加茂次期理事長に加え、加藤秀治郎、北岡伸一、寺崎修、渡辺浩（50音順）の各理事計6名で構成されることが決定した。

(4) 第3回理事会記録（案）は、一部文言を修正の上、確定された。

# 学 会 ニ ュ ー ス

## 2001年度決算 (案)

### 一般会計

[収入]	予算額	通年執行額	残高
1 前年度繰越金	6,103,861	6,103,861	0
2 会費収入	11,000,000	10,851,250	148,750
3 雑収入	3,000	872,527	-869,527
収入合計	17,106,861	17,827,638	-720,777

### [支出]

	予算額	通年執行額	残高
1 研究会開催費	1,350,000	1,350,000	0
A 研究会準備金	1,300,000	1,300,000	0
B 報告者礼金	50,000	50,000	0
2 委員会経費	815,000	815,000	0
A 年報委員会	210,000	210,000	0
B 企画委員会	210,000	210,000	0
C 文献委員会	190,000	190,000	0
D 国際交流委員会	170,000	170,000	0
E 選挙管理委員会	35,000	35,000	0
3 理事会経費	20,000	14,478	5,522
4 IPSA学会分担金	350,000	378,894	-28,894
5 事務局経費	530,000	461,156	68,844
A 理事長通信費	100,000	100,000	0
B 運営費	60,000	60,000	0
C 人件費	200,000	200,000	0
D 経常費	170,000	101,156	68,844
6 学会事務センター委託費	1,400,000	1,429,277	-29,277
A 業務委託費	1,210,000	1,125,017	84,983
B 事務通信費	190,000	304,260	-114,260
7 名簿作成積立金	400,000	400,000	0
8 国際交流基金への積立金	500,000	500,000	0
9 選挙管理費	400,000	355,673	44,327
10 会報発行費	750,000	641,120	108,880
11 年報費	5,500,000	5,080,596	419,404
12 予備費	5,091,861	250,730	4,841,131
支出合計	17,106,861	11,676,924	5,429,937

### 一般会計資産

東京三菱銀行普通口座	624,691
郵便貯金総合口座	63,552
学会事務センター預け金	5,462,471
合計	6,150,714

### 別会計

	費目	予算額	通年執行額	残高
1 名簿作成積立金				
収入	1 前年度繰越金	871,374	871,374	0
	2 本年度積立金	400,000	400,000	0
	3 利息	426	242	184
収入合計		1,271,800	1,271,616	184
支出	1 名簿作成費用	0	0	0
	2 予備費	1,271,800	0	1,271,800
支出合計		1,271,800	0	1,271,800

差引 1,271,616

### 2 国際交流基金

収入	1 前年度繰越金	21,525,175	21,525,175	0
	2 本年度積立金	500,000	500,000	0
	3 利息	124,825	385,199	-260,374
収入合計		22,150,000	22,410,374	-260,374
支出	1 執行計画	400,000	0	400,000
	2 予備費	21,750,000	0	21,750,000
支出合計		22,150,000	0	22,150,000

差引 22,410,374



# 学 会 ニ ュ ー ス

## 2002年度予算（案）

### 一般会計

[収入]	費目	予算額
1	前年度繰越金	6,150,714
2	会費収入	11,000,000
3	雑収入	3,000
	収入合計	17,153,714

### [支出]

1	研究会開催費	1,350,000
	A 研究会準備金	1,300,000
	B 報告者礼金	50,000
2	委員会経費	780,000
	A 年報委員会	210,000
	B 企画委員会	210,000
	C 文献委員会	190,000
	D 国際交流委員会	170,000
3	理事会経費	20,000
4	IPSA学会分担金	400,000
5	事務局経費	660,000
	A 理事長通信費	100,000
	B 運営費	60,000
	C 人件費	200,000
	D 経常費	150,000
	E 事務局移転費	150,000
6	学会事務センター委託経費	1,400,000
	A 業務委託費	1,210,000
	B 事務通信費	190,000
7	名簿作成積立金	800,000
8	国際交流基金への積立金	500,000
9	会報発行費	700,000
10	年報費	5,500,000
11	予備費	5,043,714
	支出合計	17,153,714

差引 0

### 別会計

	費目	予算額
1	名簿作成積立金	
収入	1 前年度繰越金	1,271,616
	2 本年度積立金	800,000
	3 利息	384
	収入合計	2,072,000
支出	1 名簿作成費用	2,000,000
	2 予備費	72,000
	支出合計	2,072,000

差引 0

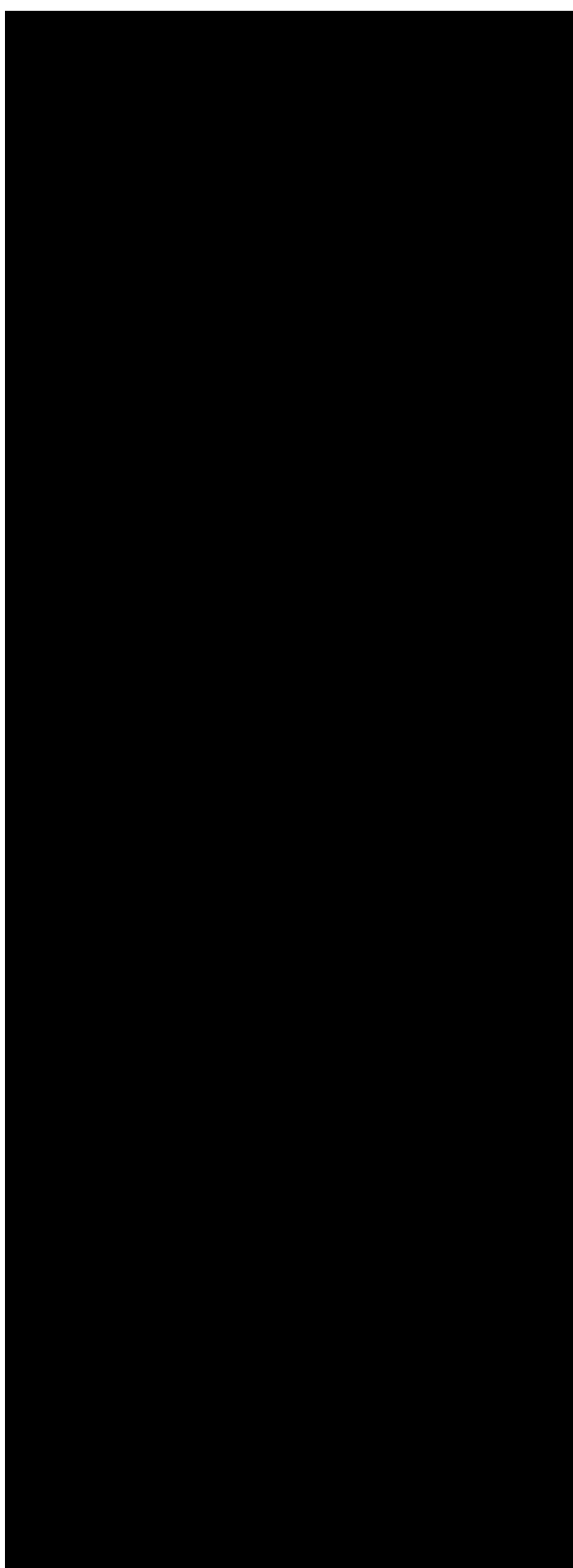
### 2 国際交流基金

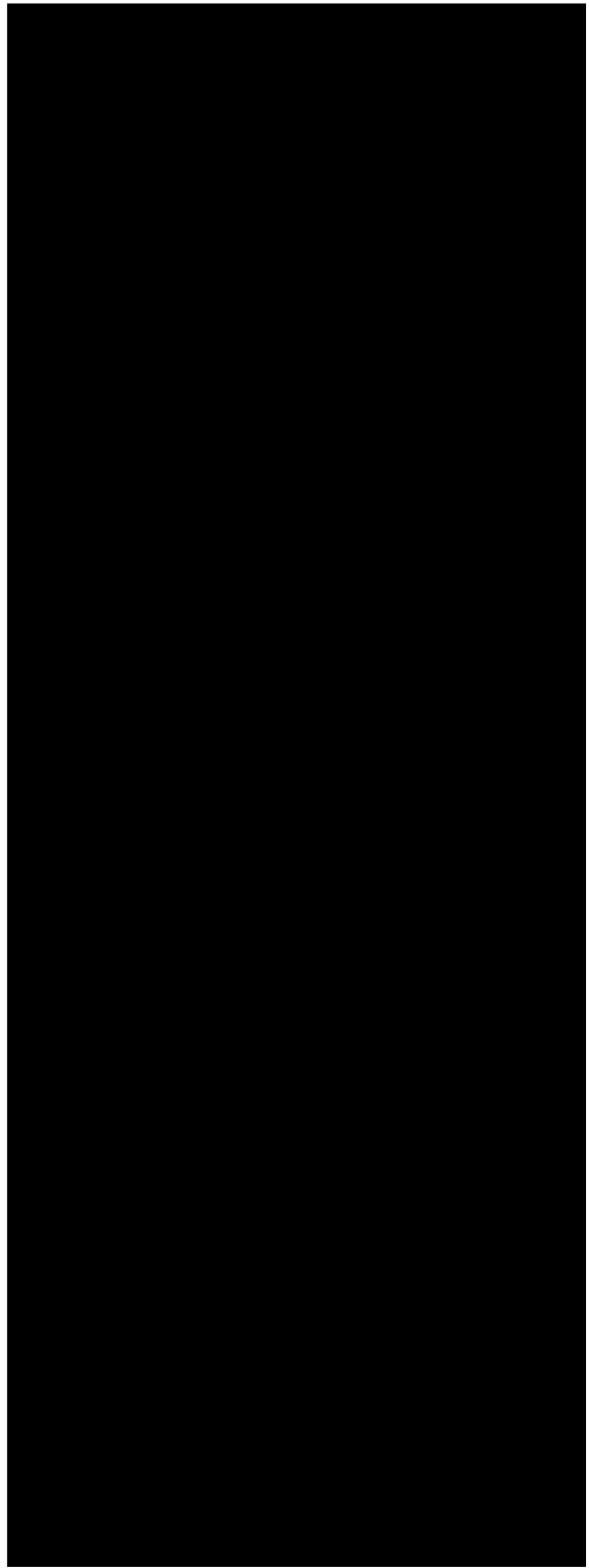
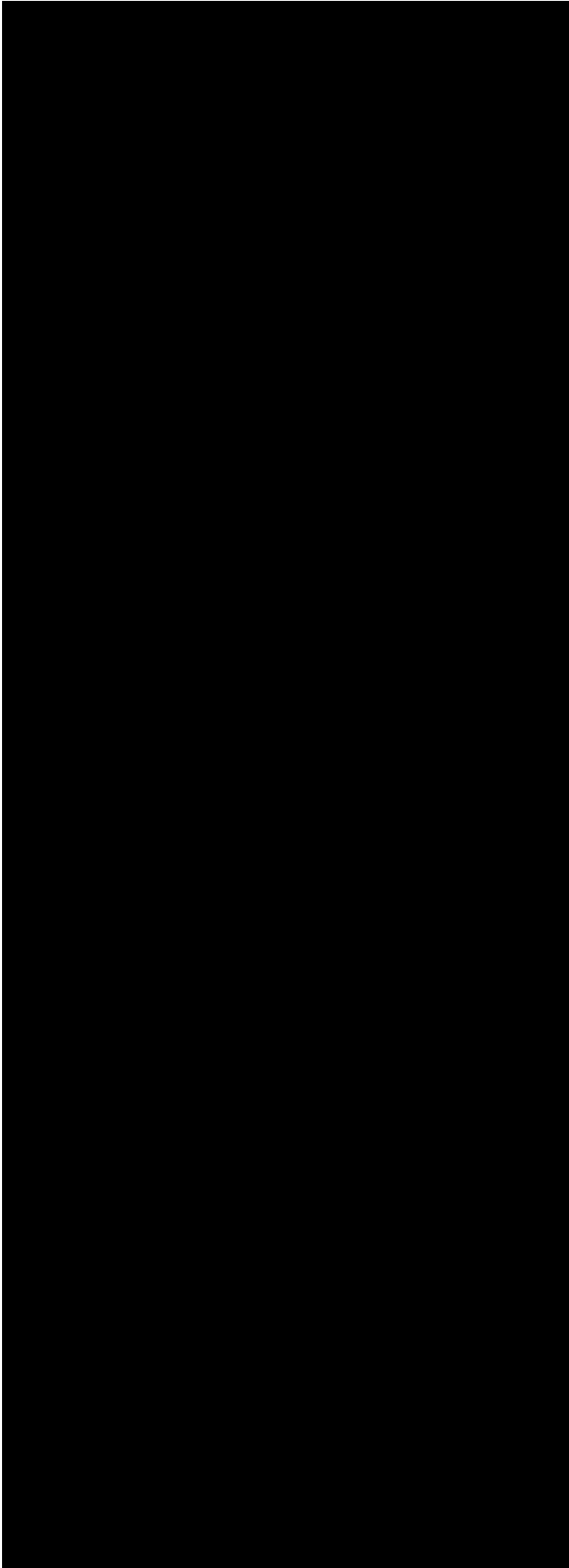
収入	1 前年度繰越金	22,410,374
	2 本年度積立金	500,000
	3 利息	124,626
	収入合計	23,035,000
支出	1 執行計画	400,000
	2 予備費	22,635,000
	支出合計	23,035,000

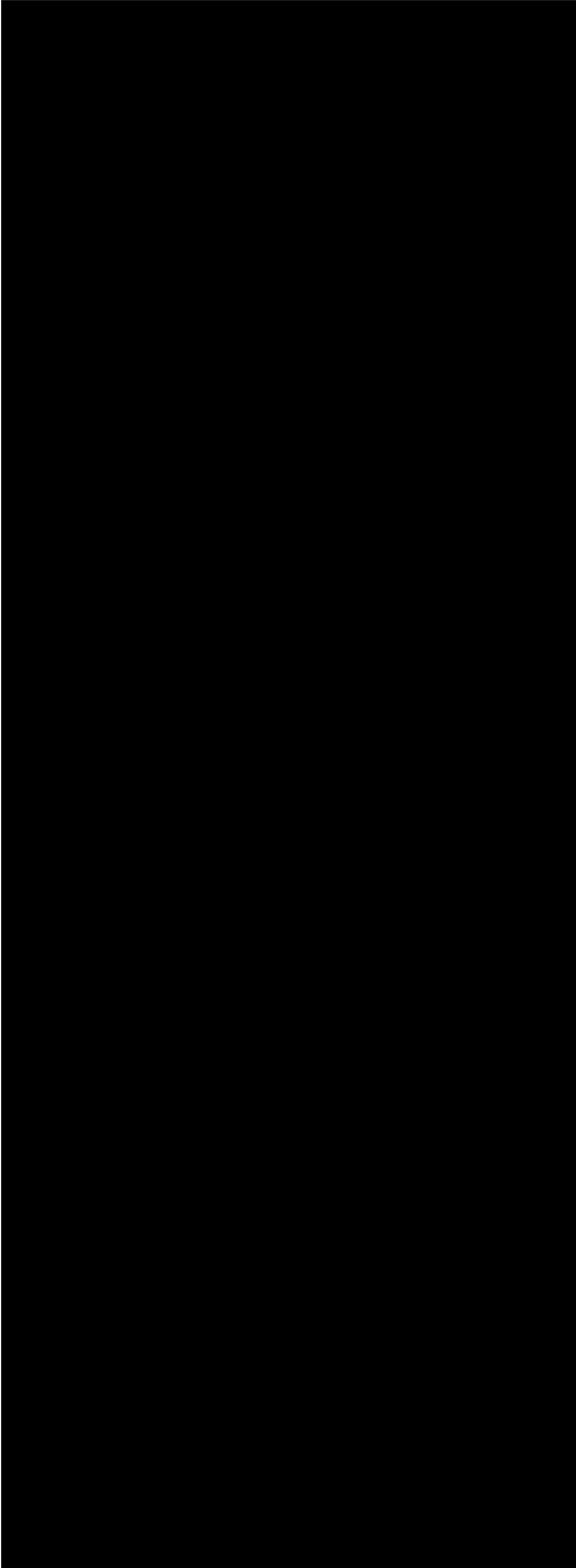
差引 0

会員の異動

--	--







## 事 務 局 よ り

### 会費納入についてのお願い

年会費をまだ納めていただいていない会員の方が若干おいでになります。学会事務センターからもご案内させていただいておりますが、何卒速やかにご協力の程お願い致します。一般会員は7,500円、院生会員は5,000円です。

ご不明な点は学会事務センターまでお問い合わせ下さい。

### 訃 報

下記の会員が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

藤谷 博氏 広島女学院大学教授 アジア政治思想史 1928年生

塚田富治氏 一橋大学大学院教授 近代イギリス政治思想・近代イギリス政治史 1946年生

### 本号の目次

1. 2002年度研究会企画をめぐって……………1
2. 2002年度日本政治学会研究会  
プログラム……………2
3. 次期理事長選出について……………4
4. 理事長選出規定検討委員会の  
発足について……………4
5. 理事会記録……………5
6. 2001年度決算……………8
7. 2002年度予算……………9
8. 会員の異動……………10
9. 事務局より……………14

2002年6月20日

発行 日本政治学会事務局

藤 原 孝

〒101-8375 東京都千代田区三崎町2-3-1

日本大学法学部内

TEL & FAX 03-5275-8599

(財) 日本学会事務センター

〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9

会員業務 (退会、住所変更、会費)

TEL 03-5814-5810

FAX 03-5814-5825

印 刷 (株) 明光社印刷所